

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科
学年(出発時)	学部2年
大学名	ハイデルベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2024.3～2024.8
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	授業
10:00	授業
11:00	昼食
12:00	友人と過ごす
13:00	自習
14:00	授業(聴講)
15:00	授業(聴講)
16:00	
17:00	夕食
18:00	
19:00	自習
20:00	帰宅
21:00	
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Modernes Japanisch: Grammatik 2	金9:00~11:00		ドイツ語	日本語→ドイツ語の翻訳練習
Deutschkurs A2.2(Max-Weber-Haus)	月・水16:30~18:00		ドイツ語	6人程の少人数授業、2回のテスト有
Deutschkurs A2.1(Max-Weber-Haus)	月~金 9:00~12:50		ドイツ語	数回の小テストと2回のテスト有

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	銀行口座開設、保険申し込み、ビザ申請など
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	Deutschkurs (Max-Weber-Hausにて) (交換留学生は無料) ①3.5~3.28 (A2.1) ②4.22~7.24(A2.2)

生活	
住居のタイプ	Studentwohnheim (学生寮)
住居の名前	Jellinek-Haus
部屋タイプ	シングルルーム
ルームメイト(国籍)	(同じ階に)ポーランド人、ドイツ人2人、日本人
室内設備	勉強机・椅子、ベッド、洋服ダンス、棚、暖房
共用施設	洗面台、トイレ、シャワー、キッチン
インターネット設備	無
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩10分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	外国人局
Visa取得にかかった日数	約3か月
Visa取得にかかった費用	約1.5万円
Visa取得方法、提出書類等	オンライン申請。提出書類：賃貸契約書・在学証明書・保険・残高証明書・パスポートコピー
留学先大学の最寄り空港までの経路	中部国際空港→成田空港→フランクフルト空港
渡航費用	約20万円
ピックアップサービスの有無	無

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無(予定)
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	2024.7
帰国後の進路	卒業後就職予定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	約170円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	海外旅行保険：約5万円、健康保険約500€(月123€)
学費(教科書代や語学コース授業料等)	48€【3月(26.5€)と4～7月(20.99€)の語学学校の教科書費】
宿舍費(月額)	月225€
光熱費(月額)	宿舍費に含まれている
食費(月額)	約300€
その他	娯楽費、旅行費など
留学期間中にかかった費用の合計	約150万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

半年間の留学は、想像以上にあっという間だったが、本当に充実した留学生活を送ることができた。

しかし振り返ってみると、この留学生活の中で最も辛い経験をしたのは、留学初日だった。

まずフランクフルト空港に到着した際、スーツケースが壊れており、修理の手続きをしなければならなかった。タイヤが破損しており、まともに動かなかった。それだけでなく、慣れない手続きや長時間のフライトの疲れからか、重要な書類やパソコンが入ったリュックサックをトイレに忘れたまま、空港を出発してしまった。バスに乗ってからそのことに気づいたが、修理の手続きに対応してくださった日本人スタッフの方に連絡をしたおかげで、奇跡的に何も盗まれることなく無事ハイデルベルクに到着することができた。

この初日の経験は、自分の危機管理能力の無さに気が付くことができたと同時に、海外で生活するうえで必要なマインドを培うことができた。

また、この交換留学では、特にコミュニケーション能力を高め、異文化・他者理解を深めることができた。

3月の語学学校のクラスは毎日約4時間授業があり、毎日の課題や他のクラスメイトとの交流で毎日精一杯だった。全く日本語が使われないドイツ語の授業は初めてだったため、先生の説明するスピードの速さについていくことに必死だった。放課時には、隣の席の子とドイツ語で会話をするよう心がけたりしたことや、日々の勉強や慣れもあってか、徐々に聞き取れるようになったときは、感動と達成感を覚えた。

慣れない環境でクラスに日本人がいない中、クラスメイトと交流したり仲を深めることは容易ではなかったが、そのような環境だったからこそ、コミュニケーションを大切に日々過ごすことができた。おかげで、語学学校のクラスが終わっても、先生やクラスのみみんなとピクニックをしたり、ランチを食べる関係になることができた。

さらに、4月に日本人の友人とパリへ旅行したときに、ヴェルサイユ宮殿でドイツ人に話しかけられたことがあった。彼は日本語を学んでいたため、日本語を話していた私たちに声をかけてくれた。その際、語学学校で培ったコミュニケーション能力やスピーキング能力を活かして、ドイツ語でコミュニケーションを取ることができた。これがきっかけで連絡を取るようになり、帰国する前には一緒にケルン大聖堂を見に行ったり、また日本で会う約束をすることができた。

語学学校や言語交換を通して、様々な人との交流や文化・価値観の違いを学んだ。この経験を、自身の研究や将来に活かしたい。

今後留学する人へのアドバイス

留学生生活をより充実したものにするために、英語を勉強してから行くことをおすすめします。私は留学前、英語よりもドイツ語に力を入れて勉強していました。もちろんドイツ語に力を入れて勉強したことでできたコミュニティもありますが、語学学校のクラスメイト達は基本的に英語でコミュニケーションを取ります。基本的な会話スキルがある方は問題ないと思いますが、私のようにスピーキングが苦手な方だと少し大変かもしれません。実際、伝えたいことはあるのにその表現方法が分からず、伝えられないもどかしい思いをした経験があります。より親密なコミュニケーションを取るためにも、日頃から英語を勉強した方がいいかなと思いました。

加えて、留学期間中は、日記をつけることもおすすめします。特に日本語ではなく、自分が勉強する言語（英語圏なら英語、ドイツ語圏ならドイツ語）で書くことにより、語学学習にもつながります。私は、SNSで日記用のアカウントを作成し、そこに書いていましたが、紙媒体で書いた方がより身につくと思います。日記をつけることで、毎日の出来事やそのときに自分が抱いた感情を振り返ることができます。

また、SIMIに関して、現地のスーパーで購入して設定することもできますが、個人的には事前にeSIMを購入する方が良いと思います。空港に到着してすぐにアクティベートすれば使えるので、安心です。事前に情報収集や語学勉強をし、充実した留学生活を送ってください。

報告書記入日

2024.8.6